

地域で協働して作成する推奨薬リスト（地域フォーミュラリ）とは

「地域で協働して作成する推奨薬リスト（地域フォーミュラリ）」は・・・

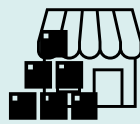


- ①良質な薬物療法の提供を目的とし、**地域における医療関係者の合意の下**で作成・運用。
- ②有効性、安全性に加えて、経済性なども含めて**総合的な観点**から医薬品を選定。

- ※ あくまで推奨薬であり、**医師の処方**を制限するものではない。
- ※ **原則は有効成分単位で選定**し、合理的な理由がある場合に特定の銘柄を選定。
- ※ 1薬効群に対する**推奨薬は1に限定する必要はなく**、複数を選定したり、一定条件を付けたオプションとして選定したりすることも可能。



処方の標準化により
病診連携が円滑に。



在庫管理を効率的に。



災害時も含む、
供給不安に強い
提供体制に。



住民の
自己負担軽減に。

3

地域フォーミュラリで実現する「薬の連携パス」

地域の病院や診療所で**同じ薬**が使われることで、治療が途切れず、患者にも医療者にもやさしい医療を

Before

施設ごとに薬剤がバラバラ

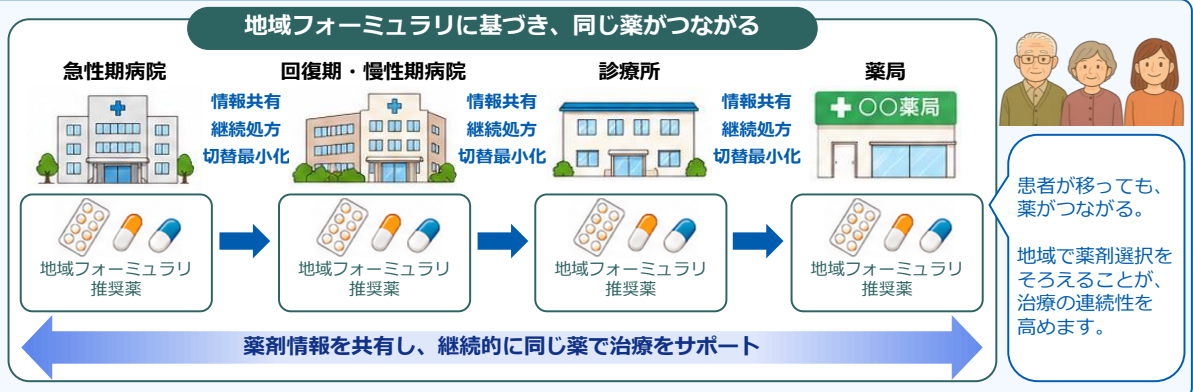
- ✕ 転院・紹介のたびに薬が変わる
- ✕ 患者の混乱・飲み間違いのリスク
- ✕ 患者の説明・確認の負担が大きい



After

地域で薬剤をそろえ、
つながる薬の連携パス

- どこでも同じ薬で治療継続
- 患者の安心・理解が向上
- 切替・確認の手間とリスクを削減
- 医療の質・安全性を均一化



地域フォーミュラリ
の主なメリット



医療の質と安全性の向上
(標準化によるばらつき縮小)



医療者の負担軽減
(確認・説明・切替の手間削減)



医療資源の有効活用
(重複薬剤の削減)



患者満足度・アドヒアランスの向上
(わかりやすく、続けやすい医療)

地域みんなで「薬の連携パス」をつくり、切れ目のない医療を実現しましょう！

4